

平成 22 年 10 月 20 日

各 位

株式会社りそな銀行
株式会社 近畿大阪銀行**投資信託「DWS グローバル公益債券ファンド(毎月分配型)」
の取扱開始について**

りそなグループのりそな銀行（社長 岩田 直樹）、近畿大阪銀行(社長 桔梗 芳人)は、平成 22 年 10 月 25 日より、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が設定・運用する投資信託「DWS グローバル公益債券ファンド（毎月分配型）」の取扱いを開始いたします。

本商品の主な特徴は以下の通りです。

1. 主に電力・ガス・水道等を供給する世界各国の公益企業・公社が発行する債券を投資対象とします。

- 公益企業・公社は、長期・継続的な事業の安定が期待される業種です。
- 公益債券は、主要先進国の国債に比べて魅力的な利回り水準となっております。
- 組入れ債券の平均格付は原則としてA格相当以上となることを目指します。

2. 毎月20日の決算時に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。

※分配金は、あらかじめ一定の分配金額のお支払を約束するものではなく、分配金が支払われない場合もあります。

3. 為替変動リスクを低減するコース（為替ヘッジあり）と、為替ヘッジを行わないコースの2コースがあります。なお、為替ヘッジにかかる運用指図およびマザーファンドにかかる運用指図に関する権限を、DWS インベストメント GmbH^(※) に委託します。

※DWS インベストメント GmbH は、ドイチェ・アセット・マネジメント・グループのリテールビジネスを担う投資信託会社グループの一員です。

りそなグループでは、今後ともお客さまの多様化するニーズに幅広くお応えできるよう、より一層商品の充実に取り組んで参ります。

以上

<本件に関するお問合せ先>

りそなホールディングス コーポレートコミュニケーション部

(東京本社) TEL:03-6704-1630 (大阪本社) TEL:06-6264-5685

【別紙】

<商品概要>

ファンド名称	DWSグローバル公益債券ファンド（毎月分配型） Aコース（為替ヘッジあり）/Bコース（為替ヘッジなし） 追加型投信/内外/債券
申込単位	1万円以上1円単位
取扱開始日	平成22年10月25日
信託期間	無期限
決算日	毎月20日（休業日の場合は翌営業日）
購入・ 換金のお申込み	原則、いつでも購入・換金のお申込みが可能です。ただし、ファンドの休業日にあたる場合は購入・換金の受付はできません。
販売手数料	2.1%（税抜2.0%）以内
信託報酬	純資産総額に年率1.512%（税抜年率1.44%）を乗じて得た額。
信託財産留保額	なし
委託会社	商号等/ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号 加入協会/社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会
販売会社	商号等/株式会社りそな銀行 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第3号 加入協会/日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会 商号等/株式会社近畿大阪銀行 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第7号 加入協会/日本証券業協会
受託会社	商号等/株式会社りそな銀行

（ご留意事項）

- ・ 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。
- ・ 投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。
- ・ 当社を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ・ 投資信託の募集・申込等のお取扱いは当社、設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ・ 取得のお申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）および一体としてお渡しする目論見書補完書面を必ずご覧ください。

ファンドの主なリスク

当ファンドは、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、当ファンドは、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益及び損失は、全て受益者に帰属することとなります。当ファンドにおける主な投資リスクは次のとおりです。これらの投資リスクにより、当ファンドの基準価額は下落する可能性があり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。

主な投資リスク	主な投資リスクの内容（損失が生じる恐れがある理由）
金利変動リスク	債券の価格は、通常、金利が上昇した場合には下落傾向となり、金利が低下した場合には上昇傾向となります。したがって、金利が上昇した場合には、保有している債券の価格は下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
信用リスク	債券価格は、発行者の信用状況等の悪化により、下落することがあります。特に、デフォルト（債務不履行）が生じた場合または予想される場合には、当該債券の価格は大きく下落（価格がゼロとなることもあります。）し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
為替変動リスク	外貨建資産の価格は、為替レートの変動の影響を受けます。外貨建資産の価格は、通常、為替レートが円安になれば上昇しますが、円高になれば下落します。したがって、為替レートが円高になれば外貨建資産の価格が下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。Aコースについては、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、基準価額への影響がすべて排除されるわけではありません。Bコースについては、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替変動による影響を直接受けます。
カントリーリスク	投資対象国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合などには、有価証券等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。